

学 識 経 験 者 の 意 見

愛知教育大学大学院教育実践研究科特任教授 恒川 武久

総括的には、明確な政策方針の下、教育委員会会議や活動、事業が適正に実施されていると認められる。特に、各活動や事業に対して点検・評価する中で、成果と課題を明らかにし、改善策まで付記している点は評価できる。

活動及び事業により効果的に取り組むためにも、指標を設定し、蟹江町の教育の充実・発展を図られることが望まれる。なお、客観的で科学的な行政運営が求められている時代を考えると、点検・評価の数値化は避けられない。困難な面もあるが検討してほしい。

教育事業は短期的な面での推進と継続的な活動展開の両面を持っているので、長期的な見通しをもった企画は欠かせないものである。今後も、教育行政は適正な事務執行だけでなく、企画調査機能の充実を図ることが望まれる。

以下、各種事業について意見を付し、まとめとする。

< 学校経営 >

学校経営の評価と改善については、よく努力し、次年度への改善策が明確になっている。耐震化工事の完了は評価に値する。今後も安心安全な教育環境づくりに努めてほしい。

< 教育課程 >

学習指導要領の内容を適切に実施している。なお、不登校、問題行動等に対し、その取り組みに成果がでていますが、一層の教育関係機関との連携、さらに、小学校と中学校との連携を図る中で、生徒指導上の問題を解決する努力をしてほしい。

23年3月発生の東日本大震災を教訓にし、安全教育及び安全指導の在り方を再構築し、改善を図ってほしい。

< 蟹江町給食センター >

給食センターが、衛生面・環境面とも著しく改善され、さらに、衛生管理の徹底で一層安全・安心な給食の提供がなされた。一部ではあるが、食物アレルギー除去食提供の試行は特段の前進である。

< 生涯学習 >

生涯学習・文化活動の拠点として、場の提供と各種講座を開催していることは評価できる。今後も十分に町民のニーズに応えられる取り組みが望まれる。

また、総合型地域スポーツクラブの設立により、新たに活動場所の確保が課題となっているが、施設の有効かつ効果的な利用の推進に努力してほしい。野外活動センターの活用目的であった体力向上、心身鍛練等をセンター廃止の中、どう補完していくか検討してほしい。

< 図書館 >

方針にそって、資料整備及びクローバーTVでの放送やホームページへの掲載増等のサービスが推進され、成果を上げていることは評価できる。さらに、子どもから大人まで読書に親しむ活動が充実するよう事業の拡充を図ってほしい。

学 識 経 験 者 の 意 見

名古屋芸術大学人間発達学部講師 伊藤孝照

1 教育課の事業について

各小中学校において、校長の学校経営方針に基づいた学校経営が自己評価を重ねながらなされており、教育課程が適切に実施されていることは、評価に値することである。また、特別支援教育においても、就学児童の状況や保護者の考えを的確に把握して就学指導を行ったり、その他の支援の必要な児童・生徒に対しても計画的にきめ細かな指導・支援が行われたりして教育効果を上げている。

また、本年度から本格実施になった小学校の英語活動では、ALTを活用し、算数では複数教員によるTT指導を行って教育効果をあげている。ただこれらの指導の場合、たぶん実施されていると思うが、担任教師とALT、またはT2の教師との事前・事後の打ち合わせ時間をきちんと確保して連携して指導しないと複数教員による指導効果が十分得られないと思う。

次に生徒指導について、平成21年度と平成22年度を比較すると不登校と問題行動(対教師暴力、生徒間暴力、器物破損)の件数が増加していることが懸念される。これらの問題に対して、それぞれの学校で対策委員会を設置して協議したり、他の関係機関と協力したりして対処・解決をしていることは一つの重要な対策であるが、もっと根本的な解決策はなされているだろうか。最も大切な解決策は、児童・生徒が満足する授業を提供することである。児童・生徒は毎日4～6時間の授業を受けるわけであるが、「今日の数学、よくわかった」「きょうの国語、楽しかった」等と感じられる授業でなかったら、児童・生徒は学校において何にやりがいを感じるのだろうか。教師の仕事で最も大切なのは、1時間1時間の授業である。この報告書の中に、「教師の授業力を高めるための研修・研究」については、初任者研修以外は見当たらなかったのが心配である。特に、部活動に追われて実施困難な中学校教師の授業研究について、どのように行われているのか心配である。

2 生涯学習課の事業について

生涯学習に関わる多くの事業や活動が企画運営され、素晴らしいことである。その中で、家庭教育について若い親が学ぶ場がもっと多く設定されるとよいと思う。核家族が増加して、子育てに悩み困っている母親が多くいるからである。子育て支援センターとの連携も必要と思う。

3 図書館について

図書館には蔵書が多く、利用者も大変多い。また、読み聞かせの会など、様々な企画がなされ本に親しむ働きかけがなされている。インターネットやゲーム等の影響で読書をしない若者が増加している今日、小さい時から本に親しむ習慣を育てる場がたくさんあることはよいことである。